

平成30年度第3回石狩市手話基本条例推進懇話会議事録【全文筆記】

■修正部分 ～ 金原副会長：発言部分の9ヶ所

- ①P 3 12行目から24行目まで ■②P 7 15行目から18行目まで ■③P 8 22行目から32行目まで
- ④P 11 37行目 ■⑤P 12 3行目 ■⑥P 12 7行目
- ⑦P 12 10行目から12行目まで ■⑧P 12 13行目から15行目まで ■⑨P 15 35行目からP16 1行目まで

修 正 前	修 正 後
<p>①P 3 12行目から24行目まで</p> <p><u>日本も、スケートの堀井議員がお話して「言語である」ということで、手話で「おめでとうございます」というコメントもされていきました。世界ろう連盟の理事もそのようにコメントされていて、「手話が言語である」というお話の中で一番良いと思ったのは、国際基督教大学の教授がおっしゃってまして、ジョン・マーハ先生という方がお話をされていた内容、「母語は1つだけではない。2つも3つもあるのだよ」という話をされていきました。「親から子どもに、ろうとは関係なく、手話であることとか、音声であるということも母語に含まれる。母語は1つではない。2つあっても良い」「たくさん母語があってもそれは普通のことである」というお話をされていきました。「言語的なことから見れば、人間としては母語を持って、言葉をもって当たり前。母語は1つではない。2つも3つもある。それが当たり前なのだ」と、彼はお話していきました。このような講演がもっと一般の市民に対して、理解が広まっていくことが必要かと思いました。</u></p>	<p>①P 3 12行目から24行目まで</p> <p>日本からスケート選手だった堀井外務大臣政務官が挨拶され「手話は言語」であることを意識して、手話で「おめでとうございます」というコメントをされていきました。世界ろう連盟理事からも同様のコメントをいただき、その中で一番良かったと思うことは国際基督教大学のジョン・マーハ教授のお話で「母語は1つだけではなく、2つ3つあって当たり前」と話されていて「親から子どもに、聞える・聞こえないとは関係なく手話であることや音声であっても母語に含まれる。母語というのは1つとは限らない。必要によって母語はいくつあってもそれは普通のことである」というお話をされていた。このような講演がもっと一般市民が学び、理解が広がることが必要かと思いました。</p>

修正前	修正後
<p>②P7 15行目から18行目まで</p> <p><u>だと先生から言われた」という話をしたそうです。理事長は悩んだ挙句、「手話は必要なだよ、手話を教えたら良いよ」というアドバイスをしたという話をされていました。医師達の中では「手話はダメ」という考え方がまだあるという話でした。</u></p>	<p>②P7 15行目から18行目まで</p> <p>だと医師から言われた」と話したそうです。理事長は「手話はろう者の大切な言語だから手話も必要だよ」とアドバイスしたという話をされていました。</p>
<p>③P8 22行目から32行目まで</p> <p><u>昔、日本人女性は着物を着ていましたよね。ズボンをはいている女性はいなかった。初めてズボンをはいた女性は、皆から「変だ」「おかしい」と言われた。また帽子を被った人も同じように言われたのですって。外国の方がまだ来られていなかった時に日本人は英語を覚える気持ちがないから、やはり英語を話す外国の方が来られた時も「変だ」というふうに言われていた。歴史の流れは時間がかかって変わってきた。手話も同じように変わる時がくると思うのですよね。初めは「手話は変だ」「おかしい」という差別的な考え方が多かったですけども、今は「手話は言語だ」という理解も広がってきていて、差別の気持ちも少しずつなくなってきて、「手話は言語である」「当たり前である」という考え方に変わってくるのではないかと思います。</u></p>	<p>③P8 22行目から32行目まで</p> <p>昔日本の文化では女性は着物を着ていましたよね。外国人がズボンをはいているのを見て日本人は「変だ!」「おかしい」と女性は着物を着るべきだと同じく帽子も「変だ」と差別や偏見の対象となって、ズボンをはいている女性を笑いものにした。英語もまた覚える人は、ほとんどいなかったから外国人は差別されていた。時代が変わり長い時間をかけて今は「ズボン」も「帽子」も当たり前になった。手話も同じように初めは「変だ」「おかしい」という差別的な考え方が多かったが、今は「手話は言語」という理解が広がって差別も少しずつなくなってきている。同じように「手話は言語」であることが「当たり前前の社会」に変わっていくのではないかと思います。</p>
<p>④P11 37行目</p> <p><u>トイレトペーパーにも手話の表記がある。</u></p>	<p>④P11 37行目</p> <p>トイレトペーパーに手話のイラストがある。</p>
<p>⑤P12 3行目</p> <p><u>配った。</u></p>	<p>⑤P12 3行目</p> <p>配っていた。</p>
<p>⑥P12 7行目</p> <p><u>使っても良いのだと思う。</u></p>	<p>⑥P12 7行目</p> <p>使ったら良いと思います。</p>

修正前	修正後
<p>⑦P12 10行目から12行目まで</p> <p>日本語は全部日本で作られた言葉ではなくて、例えばポルトガルから銃が伝えられたように、「カステラ」という言葉もありますよね。「たばこ」もそうですね。</p>	<p>⑦P12 10行目から12行目まで</p> <p>日本語は全部日本で作った言葉ではなく、例えばポルトガルから日本に初めて長崎で銃が伝えられた時「カステラ」も広まった。「たばこ」もそうですね。</p>
<p>⑧P12 13行目から15行目まで</p> <p>同じように手話がわかる、それは大切なので、話す時に「ありがとう」「お疲れさま」とか、そういう単語を一緒に表現したら良いのではないのでしょうか。</p>	<p>⑧P12 13行目から15行目まで</p> <p>手話も同じように広めることが大切なので、積極的に「ありがとう」「お疲れさま」とか使っていくと良いと思います。</p>
<p>⑨P15 35行目からP16 1行目まで</p> <p>被災者の立場なので、であれば、無事なところ、各市から通訳を協力して派遣してもらう等々の契約をしているそうです。北海道にはないですね。そういう意見は出しているのですけれども、そういう協力は必要だと思います。もし石狩市で災害が起こった時にも通訳活動がなかなかできない、ということであれば逆に協力してもらうという方法もあると思うのですよね。他の市の通訳の応援をしてもらう、そういう体制も必要ではないかと思うのですよね。</p>	<p>⑨P15 35行目からP16 1行目まで</p> <p>います。ある市で・・・・・・通訳者自身も被災者なので自由に動けない。通訳どころではないので被災を受けていない地域から手話通訳者を派遣してもらう等の協定が必要です。北海道も広大な地域ですから災害協定が必要という意見は出しています。</p>